



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して思ったのが日本はすごく大変な目に会って、被害を受けた人はすごく痛くて苦しい思いをしたんだとあらためて実感しました。

原爆先生のお父さんは、すごい奇跡を起こして、無傷で目かたさるです。... 原爆が落ちるなんて、夢にも思わない、すごく怖い思いをしたよ。『はだしのゲン』というマンガで、

私は、被害を受けた人々がどんな姿になり、どんな苦しい思いをして、生きていたか... それは、私も知っているつもりでしたが、戦争で苦しんだ人達の事なんて全く考えないし、何となく

知ってるぐらいでした。でも実際に聞いてみると、すごく想像以上に苦く、厳しい現実だったさるです。体が熱くなって、水を求める人、皮がむけてうごがとれちゃう... すごく

聞いている時は想像はくなくて、耳を塞ぎたくなりましたが、これが日本と実際に起きた現実です。苦しい思いをした人の事を、しっかり胸に残こしておらなくちゃならない

のです。それと、アメリカは、日本の事を物のように考えてたのでしょうか。原爆に、

「リトルボーイ」=小さな少年... なんて軽々しい名前をつけたり、天気で落とす場所を

変えてみる。という提案を出したり... その県に住んでる人は、どんなに苦くて悲しい思いをしたのか... そんな事なんてどうでも良いというように、アメリカは、原爆をはなりました。

私は、TVで原爆を落とした人のコメントを聞きました。「日本が悪いんだから、そんなことは知らない、気の毒だとは思いますが、謝罪はしない」と言いました。それを聞いて、私は、『わかりが

おさまりませんでした。でも、その時は、確かに日本とアメリカは仲が悪いのでイ仕方が

なく、どちらが悪いのかわかりませんが、一言「コメント」を聞きたかたさるです。被害を受けた方に、

言射罪してほしいからさるです... そんな、思いがあるのなら、もう二度と戦争は起こさず、



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は二枚なと思いました。その理由は  
原爆が火暴発して半径2kmも破壊されたからで  
す。しかもその単戈争に日本は負けて単戈争で被害  
を受けた。たゞは、もう単戈争を起こしては行か  
ないと言ふ強い思いで、今も単戈争がないのに、今  
単戈争を起こそうとしている輩がいた  
たかいます。

しかも昔も同じように若い人た  
ちを単戈争に送ろうとしている。

送たとしてもどうせ負け帰  
来て終わる。二度も同じことの繰り返し  
をしている。たゞは二回同じ単戈争をし  
ている。たゞはたゞは。

カンカも勝たない相手に、  
かかかから負ける単戈争も同じ。

負けないうちに、すうには強い人  
も強い心、勇氣それたが、あれば負  
けない。武器を、使えて必要が

い



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

日本が戦争をしていたころの貴重なお話を聞いて原子爆弾がどういうものを学びました。

原子爆弾によって多くの人々が亡くなったこと、多くの人々が苦しんだこと、そして今も苦しみを続けていることを、忘れないでほしいと思います。

やはり戦争はやってはいけないこと、そして多くの人々から笑顔をうばうことだと私は考えています。それに、技術が高い現代にそのような爆弾が各国にある恐ろしい現実を知りました。昔は60kg中1kgしか燃えませんでした。今は全て燃やす技術があるそうです。この1kgというのはウランの量だそうです。このことはクイズで知りましたが多くの小学校がハズレたそうです。

話が終わった後、声も元気も出ませんでした。原爆という悲しい出来事をこれから先ず、と

心に刻んでおきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

以前は原爆の事について詳しく教えて下さりありがとうございました。私は広島と長崎に原爆を落とされてとても大変な事は分かってはいたけれど先生(原爆)が話していたお話や動画を見て私が思っている以上に大変だということが分かりました。

原爆先生のお父さんはその時に「兵隊になっていた」という事を聞いて私は原爆を落とされたり戦争に行た人は悲しいけどほとんどの人が死んでしまうのに死なないで本当にすごい兵隊だと思いました。お父さんは原爆を落とされて死んでしまった人は3日間ほどたつと臭くなってしまうのになんとか助けようとしてすごいと思います。

原爆はとても熱い100万℃ほどの物が600mにまで接近して町じゅうの人は困まてしまて死んでしまった人も多か聞いてビックリしました。原爆を落とされた時広島県産業奨励館の中に人は全員死んでほいあという間に中にいた人は黒い炭になることや骨になてしまいとても悲惨だたかも知れませんがでも中にはいた人の中で生きていた人はなんとトイレにいた人だと聞いておどろきました。

ニルポールから落とされたウランはたった1kgで広島全体を焼いてしまうので60kgのウランが落とされたらとても大変です。

もうこのような事は起きないと思いますが原爆の事は忘れない良い思い出になりました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

『戦争』という言葉は私たちの中で、想像を絶するものでした。

池田貞徳先生の父、義三さんは17才という若さで陸軍(軍隊)への入隊をしました。ま、とそのときはこれから起こることなど、知る

よしもありません。運が良いのが悪いのが、物資をつんだトラックを待っている義三さんのところに、原子爆弾が投下されました。そして、

義三さんたち2班は命を落とすことはありませんでした。

しかし、先程までとちがう風景を目の前に義三さんは、どう思ったのでしょうか。すれちがう人は、もはや「人」ではなく、今までの見たこと

のないような「人」を見て、義三さんはどう思ったのでしょうか。私たちの身には戦争が起きてはいません。ですが、言古を聞くだけでも、体で

その悲しさを感じる事が出来ました。でも元をたどるとこれは

日本が仕かけた戦争です。その仕返しに、この様な事態を引き行しました。このとき、誰も何もできなかったのでしょうか。日本が敗

れて戦争が終わって何かを得たのでしょうか。

でも、私は思いました。この戦争の悲しさを誰かに伝えて、

またそれを伝え、世界中の人々に伝えていけば、

もう2度と、こんな誤りや歴史をくり返さないでしょう。

だから、戦争で戦った亡き戦友の方々に、平和に過ごして

いる「今」に感謝しなければいけないのです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、広島で起きた、空襲は、あまり分かりませんでした。でも、原爆先生の話を聞いて、空襲で起きた、被害や、被爆者の量を聞いて、せつなさを感<sup>じ</sup>じました。何も罪の無い広島の人達が、日本の政府がおかした、罪によって、空襲されて、かわいそうだなとぼくは思いました。池田義三さんが本馬炙したこわさは、話を聞いているだけで、伝わってきました。ソルボーイに生まれていた、ウランが60kgすべてが、爆発したら、ぼくは、今の日本はなかったと思いました。でも、広島にうけた1kgのウランは、そうとう広島大きなきすがうけたと思いました。あと池田義三さんが見た、人間じゃない人間を見た時、池田義三さんのこわさが伝わってきました。ぼくは日本がまた、戦争をしないことを、原真います。次原子爆弾が、投下されたら、昔とは、科学が今と比べても、今のほうがすごいので、次原子爆弾を落とされないように、自分で出来る事をしていいます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

名前 秋山 洋

第二次世界大戦の原爆で多くの命が奪われ、苦しむ人々の命がなくなりました。じごくのような感じもいふか  
 昔の人(昭和時代)の人たちはいきなりやられて、  
 そして、とても多くやられたのが、京都で、そこ  
 では一番、たくさん人がいたと思  
 います。でも、昔は戦争がなくなれば、日本  
 は平和で、豊かなのに、日本は、いろ色と変わ  
 ったのってやりまくって、最後にはアメリカ  
 軍にやられていきますから、それで日本は戦争  
 をしないとかよくしたので、それから戦争  
 はなくなりましたが、今の時代は悪い人が  
 いるので、困ります。このように、かまたまだつづ  
 くねえ、しれません。それをさばくものがあるので  
 少しは、ついでです。あと、前の言話にもいりますが、戦争  
 のときの空襲で、つづからものがすごいばかりで、そのなか  
 いかのもとがウランニウムのもの、そのウラン  
 をたったゴルフボールの大きさで、たった1枚しか刀が物  
 ないのに、広島をやっつけたのです。もしもウランが  
 60kgも使っていたら、もう糸もありません。でも、今の日本

はたいいながら、戦争のいい国たのでよかったです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

昭和20年(1945年)に、広島に、リトルボーイが投下されました。

リトルボーイの中央は、100万℃ 周りは、7000℃にもなります。高さ600mにもなると、地上では、3000℃にもなりました。なぜ京都ではなく広島に投下されたのでしょうか。その理由は、日本をせんりょうした時に、京都には、古い神社や、古い寺などがあつたので、いゝな文化になるので広島に投下しました。

リトルボーイには、60kgものウランが詰められており、その中の、1kgで、広島が、火の海になったので、60kgのウランが60kgも、しょうびたし、日本がなくなつてしまつていたかもしれません。日本人は、リトルボーイがパラシュートで、おちてきたと思つていましたが、そのパラシュートは、リトルボーイに、ついていつたのではなく、ラジオゾンデという物についていつたとして、日本人は、びっくりすると思つていました。そのウラン1kgは、ゴルフボールと同じくらいで、広島が、まけんにとらされたから、60kgが投下されていつたら、次は、日本がまけんにとらされていつた人たなどと思つていました。

広島にいた人たちは、熱気象や衝撃波など、おびして、いつた人を、少なくありませんでした。こんなに、リトルボーイは、おちいなど、日本人は、思つたと、思つていました。外国の人がリトルボーイを投下する条件は、①直径5kmを超えろの標的があること②空襲がなかつた。この条件が、とつていつたのは、広島だけだつたのです。こんな、条件があつた人たなどと思つていました。

外国の人もいろいろ考えていつた人たなどと思つていました。





名前は裏面に記入してください

# 原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

今日は原爆(原子爆弾)のことを、くわしく教えて下さり  
 ありがとうございます。自分は原爆のことを、自由学習  
 です。で調べていたが、原爆の爆心直下が「約  
 3000℃」ということは、全く知りませんでした。そして、「ウラン」  
 1kgで広島市がなくなってしまうと聞いたときは、少し  
 ソッとしました。「たばかうた」が大量に使われていたならば、  
 日本はなくなってしまうそうです。そう考えると人間という  
 生き物は「少し怖いな」と思いました。話が少し変わりますが、  
 原爆には、大きく分けて、三つの特徴があります。熱線、爆風  
 放射線、があり、爆破したとき、その表面温度が7000℃に  
 なるそうです。ちなみに、太陽の表面温度は、6000℃です。  
 爆破したときの表面温度は太陽より暑いそうです。原爆は、  
 「B-29」(ビニゴウク)という、戦闘機から落とされました。  
 た。そして、地上600mの地点で、爆破し、一瞬にして、広  
 島市はなくなり、すべてがなくなってしまうそうです。  
 ほとんども、原爆の「恐しさ」として、「すごさ」を学びました。  
 原爆のことをよく知れて本当に良かったです。そして、ま  
 た原爆のことを自分たちに、くわしく教えてほしい  
 です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は初めて原爆先生の授業を聞いて、とても悲しく参  
 きが分かりました。池田義三という方が1945年の時に起きた  
 話でした。最初にウランという物が落ち池田さんは、奇蹟  
 的に助かりました。でも他の人はみんなかけどりになって、トラック  
 で池田さんが走っていると、且かけて、且かけてという声か  
 て、手を貸したけれど、皮膚がべろんと落ち転倒し  
 てしまう事もあったという、とても小怖くなりました。原爆を  
 落とした理由は、広島がある条件にぴったりだったからで  
 その条件は、直径5kmを超えず都市、平野であること、空襲  
 がなかった、この3つの条件がそろっていたからです。でも他  
 にも候補がありました。それは、小倉、長崎、横浜、  
 新潟、京都でした。でも京都は古からの都で、  
 とても重要だったので、候補から、はずれました。そして、エラゲ  
 ンに、原爆(リトルボーイ)という物をつきました。そして、リトルボー  
 イを投下しました。とても小怖くて、とても悲しいです。衝撃波の  
 速さは、毎秒440mでした。とても速いので、リトルボーイの中  
 に入っていた、ウランの1kgが火暴石破して、広島半分がなくな  
 りました。とても残念で、悲しい、とても悲しく、とても  
 考えると、小怖くな、てしま、でもこの話は絶対忘れません。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1945年の8月に、何と起こっている、平凡な、広島県、長崎県に原爆が  
落とれてしまいました。原爆先生の父、池田義三は、この悲惨な  
現場に巻き込まれ、自衛隊兵士も、大変なめにあってしまいました。

敵機は「B29.エノラ・ゲイ」という爆撃機で攻めてきました。

まず、広島は何故こんな事になつたのか、それは、直径5kmを超える、平野で  
お、空襲が起きた、という条件に、見事に合せてしまったからです。

原爆は「リトルボーン」という名の原子爆弾です。これは「ウラン」という爆発物が、  
60kg積まれていました。そして8月6日、広島の新橋に落ちて投下されました。

このリトルボーンは、600mの高さで爆破しました。600mの高さで爆破した時の  
熱線の温度は、約7000℃です。中心部はなんと、10000℃にもなります。

それ、600mの高さで燃える、広島は、5000℃にもなります。まず人間は、300℃の熱  
で、水分が蒸気になります。その後、炭化した後、衝撃波で飛ばれます。衝撃波は、

440m/秒で進むので、おという間でも、目の前にいた人間は、半瞬でいなく

なります。そして、今は、原爆トームとなっている「広島県産業奨励館」も、一瞬で破壊さ  
れて30.ウランは、大抵は燃え尽きてしま

れました。その後、爆破した煙は上昇気流となり、成層圏まで上がり、その状態に

なります。これが、原爆雲、と呼ばれている雲です。義三さんは、その後、被爆者たちと、  
焼却する仕事となりました。何れは、くさい、恐いけど、3日もすれば、慣れてしまいます

小賢れは、こわいと思いません。8月15日、終戦となりました。その約60年後、義三さんは、参拝に行

きました。とて、つらそうでした。もう二度と、こんな事を経験してはいけな、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/11

「7000℃の少年」広島におきた、暑もないことが広島におきました。  
 私は、もしあんな所にいたら…なにをすべきなのが、私は原爆  
 先生の授業を聞いていました。私は、五分の休み時間に私は思っ  
 ました。こんなの男だからやる、女だからやらない、なんてそんなことな  
 い、女にも出来る。私は、ゆきをだして、人をたぶたい！と思っ  
 ました。でも、私たちは、まだそのときは、生まれていない。だからしりません  
 広島におきたばくはつは、そのときうまれていない今の私は、とてもラッキー  
 だ。でも、あのとき生きている大人子供は、かわいそうだ…わたしは、  
 金鉄がとけるおんど1500℃で生きている人もいる。しかもたいほうもある。まなつ  
 の日のため1500℃以上もあります。せつたい、たえきれません。池田しとくさん  
 の父 池田義三さんのビデオを見て私は、けいけんしている人がいちばんつ  
 らいとおもいました。だていろいろあったことをはなして、泣いていま  
 した。なので、とてもかわいそうでした。…原爆先生の話がおわって家に  
 がえ、エーチューブで見ました。そして女、男、子供、みなちうがとれて  
 つめも、がみのけがチリチリになってしまてました。うみや川などにとひこ  
 んで、ほねのぶうな件物が見えている所もありました。  
 しかも、こどもをおいてゆきつがえそうな男だけをしきをもどすよ  
 うにと、はやく安全な所へつれて、ていました。  
 そして子供は、火のちかくに、にげてしま、たのでした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この授業をうけて、ぼくは原爆はどのようなものなのかを  
 いめて知りました。原爆1つで町1つふきとぶときいたと  
 きはおどろきました。そして、1つでたくさんの命がうばわれ  
 るときとこわなってきました。ある日、買い物にでかけた  
 親見子はまぼたきしている間に原爆にまきこまれて  
 きてしまいます。たてものの中にいてもです。たとえ、命  
 が助かったとしても、ひふははがれおちて、真赤な肉がむ  
 だれて、その肉まではがれおちています。想像するだけ  
 できもちわるくなります。原爆は空中で爆発して表  
 面温度7000度の球体をくりだします。直形は約  
 200mほどでしょう。ここで問題です。太陽の表面温  
 度は何度でしょう。答えは6000度です。つまり、原爆が爆  
 発したのは高さ600m前後ですから、あの太陽が、上空  
 600mにまで近づいたのと同じことなのです。ぼくは、お  
 どろきました。太陽が600mまで近づいたら熱くてたまる  
 なりでしょう。ぼくは、この授業を終えたあとにこう思いま  
 した。原爆で死んだ死にたともないのに死んでしまっ  
 た人のことを思ったからぼくたちは生きていかなければ  
 いけないことが大切だ。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私はあまりこういう話を聞いたことがないので、とても貴重なお話をしてもらい、本当にありがとうございます。自分のお父さんの話を本にしてこんなことがおこらないようにするという思いが伝わってきました。

私たちが想像できない悲しみ、苦しみそして悲しさがありました。昔は国の命令は絶対なので逆らうことができない、私はとてもひどいなと思いました。国は人が死んでしまったり悲しみもせず、すぐに火の中に死んでしまった人をまるで「ゴミ」のように火焼いてしまいます。本当はとても尊い「命」なのに、と私は思いました。また働かせる人がたくさん働かされて死んでしまったりその働かしてくれた人はすぐ火焼かれまた働かせる人を求める。どうしてこんな世の中になっちゃったのか。もう一度、このような世の中になっちゃたらまた何十万人もの尊い命が無くなっていきます。そんな世の中にならないうにしたいと思いました。

この授業を受けて私はも、と人の命を大切にしていこう、という事、もうこんな世界は作らせたくないという思い、そしてこの戦争で命をおとしてしまった人々に感謝の気持ちを持ちながらこれから生活していこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業で僕は原爆はこれから先、ぜったいに、やっつけられないものだということ  
は、あらためて、よくわかりました。

最初、 $7000^{\circ}\text{C}$ の少年という代名の意味がよく  
わからなかったのですが、話を聞いてみると、この代名  
 $7000^{\circ}\text{C}$ というのは、そのまま温度で、少年というの  
は、広島に投下された原爆の名前ということがわか  
りました。リトルボーイ＝少年、この、少年という  
原爆、重さ何なりと、47トンあります。この47トンの原爆が、上空  
10000Mから落とされ、そのまま4kmとい、広島に落ちました。

そして、被害にあつた、建物などの、話をしてくれ  
ました。被害にあつた人は、体の骨がはがれ、建物は、天井が  
はがれ、カベもはがれ、大変なことになりました。

その中で、船乗りが、広島にある原爆に、僕も一度、小こ  
いころ、行つたことがあります。そこへ行くと、原爆の、悲惨  
さが、ものすごく、伝わってきました。

だから、最初にも、思ったとおり、これから先、  
ぜったいに、原爆は、しつぱいには、やっつけられ  
ない、と、よくわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生(池田真徳先生)の話を聞いて改めて戦争というものはおそろしい物だと思いました。ふだんの社会の授業の時は「原爆」としても、ちっちゃい爆発なのだろう、などと思っていました。ですが先生の言葉を聞いて、とても大きな爆発だったということが分かりました。たとえば、私は原爆の中心温度は、高くても $1000^{\circ}\text{C}$ くらいだろうと思っていました。その1000倍の $100万^{\circ}\text{C}$ くらいだと知り、とてもおどろきました。私が思っていた「 $1000^{\circ}\text{C}$ 」は、地面の温度の $\frac{1}{3}$ しかなくおどろきました。しかしこれは中に入っていた「ウラン」というものの $\frac{1}{60}$ も、もし、これだけも全部使われていたら……なんとも考えたくもないほど、おそろしいほど大きな爆発になっていたでしょう。しかしこんなにも大きな爆発にも、生き延びた人はたくさんいます。ゆう便局の地下トイレに入っていたひと……などたくさんいます。でも、一瞬のうちに水分をとられ、死んでしまった人もいます。中にはその影が残っている場所もあります。他にも真空になり、酸欠で死んでしまった人もいます。私たちにできること、それは、二度も戦争をおこさないこと。そして死んでしまった人の分まで、生きるということだと思います。





名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくはこの原爆先生の「7000000の少年」の話を知ってこの戦争では池田義三さんの体馬変したことを話すのですが、ぼくは今まで人の死を軽く見ていたのでこの話で気持ちが変わりました。人は痛い苦しい時に誰かに助けを求めますがそれを見捨てて何も思わない人と思ふ人のちがいと自分がその立ち場だったらどう思うかなど何故、原子火暴弾を落とすのがただ火暴弾の石炭かい力を見たかそれだけの理由で14万人の命が失われたのですから最初には京都府が山もあり土地も広いため落とそうとしたが結果文化や古い建物などがあたたため原子火暴弾を落とさないで広島に落としたこの原子火暴弾を作っている人火暴弾を落とす人の気持ちやぼくには全く理解できません。しかしそれなりに理由はあったのが失礼かもしれませんが人を殺していい理由はどこにもありませんさらに何もしてない人たちまで巻き込むのが訳が分かりません。その体馬変をした人とは分かりないうらやう。この原爆で亡くなった人たちの思いそれに生き残った人たちの思いがある原爆ゲーム一度はそこに行きその人たちの思いをぼくは受けついでいきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

原爆のことをいろいろの授業で教えてもら  
い、つらいことやもう戦争を二度としてはなら  
ないということをあらためて知りました。

広島県では、だいたい原爆をうけているのに、  
平成になり年がたつにつれてだんだんと町  
が治ってきているけど、原爆をうけている人達  
の心の傷は、そう簡単には消えなかったと思  
いました。原爆でこの世をさってしまった人は  
広島で14万人もいてとてもおどろきました。  
原爆をうけた人ほとんどが何も知らな  
いでごくふうの生活をおくっていたと思  
います。しかも広島で使ったウランの量は  
ゴルフボール1個分たただのでそれが60kg  
を使うとなると広島だけ  
でなく日本全体がなくなっていると思  
います。今日、今更にしかも東京に原爆  
をおとされたら亡くなる人が14万人  
ではすまないこぼくは思います。

だからもう二度と戦争をしていけない、  
今イスラム国が戦争を起しそ  
うなので注意しなければ、またこの  
悪夢がよみがえってしまいます！  
そうするとこの原爆にあつた町  
の人や戦争しかとてもかわい  
そうだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

私は戦争のお話しを聞いて原爆先生のお父様が  
 17才で戦争へ行かれたと聞いてとてもびっくりしま  
 した。しかも第2班のリーダーだったとは思いませんで  
 した。私は死んだ人をおんがしたり、体じめが「やけど」で  
 こちにあるいてくるとおんがしななどは体馬喰したことは  
 ありません、ただお父様は実際に体馬喰している  
 のでそれがどんなにかなしいことかよ〜くしている  
 はあです。私は実際にお父様のビデオをみました。  
 それはインタビューに答えていたビデオでした。だけ  
 ど、やっぱり話すと言記憶がよみがえってきて、かなし  
 くなりうまく話せないものです。私はそのビデオを見て  
 なみだがこぼれてきました。「みんなにらかみたく〜」  
 と思いつながら、みていました。でも私は戦争に行か  
 ず、この平成時代にいたいままで思っていました。  
 でも、この時代にいるからと、みんなに戦争のことを  
 伝えて行ける気がします。もうお父様はいないけど、  
 原爆先生が日本中に広めて行ければいいな〜と、  
 私は考えます。こんなきちょうな話ときちょうな時間を  
 いたたま、本当にありがとさ〜い。またいつか。

会いましょう



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は2003年に生まれ、その時はまだ何も原爆の事など知りませんでした。やがて6年生になり、社会科の授業で初めて、原爆の事を知りました。その授業の時は『悲惨な事があったんだな』とただ思っただけでした。しかし、原爆先生の授業をうけ、実体験した人はどれだけの死体を目にし、悲惨な光景を見たか、僕には分かりません。人間は皮膚がドロドロになりはがれ落ちていく...。人間が人間ではなくなってしまう。そんな日がまた来ってしまうのでしょうか。僕たちは人間ではなくなってしまうのでしょうか。被爆者の事を考えたら、とんでもなく熱かったのでしょうか。どうして、ここまでしなくちゃいけないのか。僕たちは運が良かった。でも、生活の中で原爆の事など考えていない。死者の痛みと苦しさが聞こえてきます。原爆先生の父、池田義三さん。原爆の実体験といったら、思い出したら、恐しく怖がると思います。数々の死体を目にし、人間のよな者に「助けて、助けて。」と叫ばれるのだから。義三さんのメッセージから、原爆の悲惨さが頭にうかんできます。義三さんが目にした涙。あれはなんだったのでしょうか。原爆での辛さが、こみ上げてきたのでしょうか。僕はただ、義三さんを見つめるだけでした。原爆先生がどれだけ原爆が悲惨、無惨か僕には伝わりました。原爆先生、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の授業を受けて、原爆の本当のこわさ、つらさがとても大きなものだ」と初めて学びました。社会の授業で、原爆の事を学び、人々がたくさん死んでしまうことは知っていましたが、原爆先生が話してくれたお話しは、全然伝わり方がちがいました。私はもし、原爆が落ちてきたら...という考えでもその暑さ、つらさ、こわさは、本当にその場にいた人々よりも、比べものにならないくらいに思いました。私には、話を聞いていると中々、なんとも目に涙がうかんできました。もし母や父、弟、姉が人間ではないようにならなっていたら...と思ったり、こわいってものじゃありませんでした。けれど、実際その場にいた人は、7000℃のニトロゲンつまり7000℃の爆音単の暑さに、耐えるひまもなく、あみとなり、消えてしまふ皮がかわき、はて、とけてしまう、それが「現状」となっていました。私は7000℃、なんて私には糸色対にその暑さは分かりません。や、想像もつきません。きっと、今生きている人、全員、その暑さなのを知る人は、いないと思います。なので私は、悲しい思い、つらい思い、死にたくおられた人の思いを、忘れる事は絶対にしません。そして毎日毎日を生きていて幸せだと思っ生きていたいと思、います。昨日は私達に档にあつた実話を、じつとオヤ、動作などについて分かりやすく教えてくれてどうもありがとうございました。また原爆の話をしてくだささい。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は自分自身が原爆先生のお父さんのように原爆があった時に居合わせたわけでもなく、知り合いや家族が原爆によって亡くなってしまったわけでもありません。ですが私は原爆先生の話を聞いて、なんだか共感できるような気がしました。ただそれだけつらい事や、苦しい事があれば助けを求めるはずですが、助けを求めても助けてくれない。これは、痛みよりも、苦しきよりも、一番つらい事だと私は思っています。原爆の被爆者の人たちは、そんなつらさをかかえながら亡くなっていかれたのかも知りません。私は、そんな昔のことを考えると、今はものすごく平和でけんかなんてものはバカバカしく思えるようなくらいです。その点では、産まれたのは平成で良かったのかも知りません。原爆は、やはり実際に体験してみないと分からないと思います。原爆先生のお父さんが「きれいすぎる」と言ったのは、原爆を実際に見た人だからと言ったのだなあと思います。私は写真でしか原爆を見ていません。ですからあまりつらさは伝わらないかも知れませんが、私は、伝えてきました。そしてこの原爆先生の特別授業で学んだ事を生かして、これからの人生でほかの人にも伝えていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して、昔戦争の時代は  
ぼくたちの思っているよりもすごい生きるのが、たいへんなんだな  
と思いました。

昔の戦争の時代は 原子爆弾その名も原爆が広島に落ちて  
きたのでぼくはその時思いました。なんで日本なんだろうしかもなんで  
日本の広島なんだろうと思いました。まず日本に落とすと決めていて、  
その中で三つの条件がそろっている広島がえらばれました。

原爆は太陽のプラス度(太陽の温度六千度)なので原爆は...  
七千度。それが空中で爆発し地面の温度は三千度です。  
それにあたって、皮膚がはがれ落ちている人もいます。

そういう人の歩きかたは前に手をばって歩きます。ふつうの人の歩き  
かたは手を交互にして歩きます。それだとわきが~~か~~ずれるの  
で原爆にあたった人は前に手をばって歩きます。

その人たちのことを、ぼくはかわいそうだなと思いました。

こうなたのは、ウラン1kgまで若ウラン1kgは、ゴルフ  
ボールぐらいの大きさです。それで広島がい全部が爆  
破しました。このゴルフボールぐらいのウランは、ふつうのウランの  
少しです。ウラン全部を使ったら広島はどうなるのでしょうか。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/12

この前は清瀬第八小学校に来てくれて本当にホリカと嬉しかった。おかげで原爆のおそろしさがしつかりわかりました。原爆が広島に投下された直後の父の体験などをわざと間を空けて説明してくれたりしたので本当にありがたいです。そしてこのようにところで原爆のおそろしさをまだ知らない人に教えてあげると言うことに原爆の被爆者達も喜んでいろいろは思いました。原爆の原料ウランは1kg(ゴルフボールくらいの大きさ)しか燃えてなかつたから広島だけ済んだや原爆を落とすエノラ・ゲイにはほかにも2つの飛んできたと言うこと。原爆の爆発時には直径200mの球体が出てきたや暴風の強さ最後  
に死亡率40%と言うことなのでとてもひどいことだと思いました。  
逆にその時の技術が発達してなくて本当によかつたと思ひました。  
なぜかと言うと原料のウランが1kgしか燃えてなかつたので  
広島だけ済んだと言うことだから60kg燃えたら日本列島が  
すべて焼け野原になっていたのかもしれないから本当によかつたと思ひ  
ました。そしてこの時代に生まれて本当に本当によかつたと思ひ  
うにたりました。そのようお気持ちにさせてくれる原爆先生  
はすごいと思ひました。おかの学校の人に話をするのをおかえはら  
てください





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島長崎に投下された原爆は、「B29爆撃機 エノラ・ゲイ」にのせられ投下されたこと、広島には、ウラン原爆が、長崎にはプルトニウム原爆がおとされたこと、その原爆の名前は、リトルボーイだ、たなどいろいろと教えて下さりありがとうございました。地上から六千メートルの所で爆破し、中心は百万とということも初めて聞き、初めて知ることができました。原爆により、広島市人口35万人の内、24万人が被爆者、14万人は死者というおそろしい事実、死亡率は40%という地獄のような出来事の悲惨さをぼくたちに教えてください本当にありがとうございました。広島県産業奨励館は今の原爆ドームになっていること、特に、衝撃波の速さにはとてもおどろきました。毎秒440m、音速は毎秒340mということは、人間は10mほど飛んでしまうのです。ぼくは、この事実を知ることができて、本当に良かったです。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回の授業で「広島の日間」の話で私は九日間、あとい  
うまでと思っていましたが、先生の父、池田義三さんにとっては長い  
九日間だったのかな。と思います。私は、「原子爆弾投下都市の条  
件」①直径5kmを超える。②平野であること。③空襲がなかった。の意  
味が、資料をもらったとき、あまり分かりませんでした。でも先生の話によつて大  
変なことだったのがよく分かりました。そして、広島に「トルホー」  
原爆。ラジオソツテというものは、3.12m、重さ約4t。これは、  
重すぎではないか、とびっくりしました。でもこれが平均なのかな。  
と思いました。ラジオソツテは約300km以上の速さというのに  
も、おどろきました。パラシュートをやると変な場所に行ってしまう  
というのは疑問です。衝撃波の速さは毎秒440m(音速340m)  
爆心直下は、3~4000℃そのせいで人々は炭のようにこなこな  
になってしまったというのは、かわいそうだな。と思いました。  
そして、広島市人口35万人。被爆者数24万人。死者数  
14万人。死亡率40%。こんなにも死亡率が多いの  
は、おどろいて、かなしいです。最後に先生と、先生のお父  
さんと博物館に行った時に、「きれいすぎる。」この一言で  
伝わってきたことが、こんなに、きれいに作っているけどこんな  
もんじゃなかった。と言いたかったんだと思います。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

・ 1945年、8月6日に広島に落ちた原爆「リトルボーイ」。この「リトルボーイ」はエネラ・ゲイという飛行機に積まれてアメリカからやってきました。この「リトルボーイ」を落とすのに一番に手が挙がったのは実は京都でした。理由は破壊の結果が一番分かりやすいのとこれを見た「日本人の感情」という物を知りたかったからです。しかし、この意見には反対の声も出しました。それは「京都は日本の文化財がぎっしりつまっているから」という意見です。これによって京都に原爆を落とすのは中止になりました。そして次に候補が上がったのは広島・小倉・長崎でした。しかし実際に落とされたのは、広島と長崎でした。そして8月「リトルボーイ」を落とす目標位置が決定しました。場所は「相生橋」です。そして8月6日広島に「リトルボーイ」がエネラ・ゲイからおとされました。リトルボーイはがりがくをつかんでがっちり姿勢を固定し、広島町をおそいました。リトルボーイが爆発したのは上空600m。爆発時は表面温度7000と、太陽は6000と春のものでものすごい熱いことは分かります。しかしこのとき地上の温度は3000とでした。この時、かん一発にガの後ろなど身をかしていた人によれば「一瞬で人が消えた」と言っているが、それはありえませぬ。それは、体中の水分が蒸発し、炭になったことで一瞬で消えたように見えたのであろう。こうして、広島町は一瞬にして人も犬も猫もいなし。しんと静まり返ったがレキだけが残ってしまいました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

池田眞徳さんへ

昨日は青瀬第八小学校に来てくださりありがとうございました。  
池田義三さんの本当にあつた話は将来役に立つと思います。眞徳さん、お父  
さんが戦争に行き、帰ってきて良かったですね。私のひーおじいさんも戦争に  
行き、帰ってきましたが、病気で私が産まれる前、お母さんもまだ3ヶ月の  
ときに亡くなってしまいました。このことを思い出すとができました。義三さんはバス  
を待っているとき、ドラム缶に目撃された人です。あのドラム缶を避けて、バスが  
遅れてきたから助かったというのはとても運が良かったんだなと感じました。  
リトルボーイが投下されたとき、横むきに回転しながら落ちていき、し  
かも4kmも先まで…。投下目標は相生橋でした。理由はT字  
だからです。投下目標より少し前の島病院というところでした。投下  
する時、スカイツリーの高さが100万℃、真ん中7000℃、一番下が3000℃。地  
上でも3000℃というの、とても熱すぎます。鉄がとけるのは1500℃なの  
に、私たちがいる所が3000℃です。鉄がとける2倍もあって、恐い  
ほどにビックリしました。人間の内臓もとけてしまう。衝撃波の速  
さが毎秒440m、音速は340mと、音速の方が速くて、音速が聞こ  
えたら、衝撃波がくるんですね。戦争の話も詳しく話してもらったお  
かげで、戦争に興味がわきました。本当にありがとうございました。  
また、お話を聞かせてください。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、最初の方は火暴弓単は地面に当たることで火暴死  
 して、人々はその火暴風で亡くなってしまったのだと思っていまし  
 た。でも先生のお話で聞いたのは、もっと悲慘なことでした。  
 人々は火暴風などではなく、空中で火暴死し、熱線、衝撃波、  
 放射線、この三つのせいでもう亡くなってしまったといひます。  
 この三つの話を聞いている時、ぼくは「そー」としました。  
 人の皮がずり落ち垂れ下がったなんて想像もしていなかった  
 からです。ぼくは、多くの人が亡くなり、とても悲しい出来事だ  
 なのは知っていました。関心を持って調べた事などがなかった  
 ため、先生の話を聞き、こわくなってしまうました。  
 先生は、とても分かりやすく、逆にいやだとも思いました。  
 でも、ぼく達はそれを知らずおこなうてはならないと思い、  
 真剣に聞くことができました。でも真剣に聞けば聞くほど、  
 頭の中は情景が浮かび上がります。そのたびに、体  
 中が震りつきます。でも、その一方で、自分は今までどんなに幸  
 せだったのだろうかと思ひました。自分は今まで、黙々と勉強など  
 してきてはいたけれど、そのよき気持でしていたかを考えると  
 申し訳なさを感じます。なので、これから、被災者として、人を  
 助けることを思ひ、少しでも自分にできることがあれば、やっていきたいと思ひます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生のお父さんの池田義三さんが体験してしまった、  
原子爆弾投下の話を、90分間も話してください。私たちは、  
まだ全然生まれてなかったもので、全く知らない事が、たくさん  
知れました。広島に投下された「リトル・ボイ」という、爆弾は、  
たくさんの方々の命をうばってしまった。3.12mもの爆弾です。  
映像で見せてもらった、リトル・ボイが投下された時は、もう  
広島にいた人々は、何も知らない人が多くて、とても、いや  
な爆弾だったと思います。そんな中、義三さんは、人を助けて、  
手当てをしておげたりするのは、とても、つらかったと思います。  
でも、今その日の事を思い出すと、もともとつらくなる  
んだと思います。熱線は、東京スカイツリーの第二、てんぼう  
台ぐらいのおよそ600mという、近所で、7000°もの熱をこした。  
広島は、水蒸気のように白い空気で、真白だった  
そうです。そんな中、150mの位置でも、助かった人はいら  
ないです。電話局の中の地下のトイレにいたそうです。しかも、  
電話局は、とても、かたいコンクリートで、助かったの  
です。焼け死んでしまった人もたくさんいたのですが、助か  
った人も、たくさんいてよかったです。私たちが知らない事  
を、たくさん、たくさん知ることができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して、最初は原爆。て何だろうと思ひながら聞いていると、原爆はゴルフボール1つ分で、たくさんの人々が、ぎせいになったこと、原爆で被害を受けた人は、何も悪くないのに、今、私達の生活している何も無い平和な暮らしだ。たのに、ある日、突然、日本と、アメリカが戦争したて、何も悪くない国民が、被害を受けるのは、おかしいと思ひました。今、日本でも、アメリカと、手を組み、アメリカが、せめられたら、日本の、自衛隊の人達も、一緒に戦う。日本が、せめられたら、アメリカも、一緒に戦う。そんな事をしたら、いつ、戦争が、日本に、起こるかもしれない。日本は戦争で、おかした、あやまちを、起こしているのに、また、同じ事をくり返しては、いけないなという事を、思ひました。7000人の少年意味は、日本の広島に落ちた、原爆と、同じ意味。これから、平和な日本が続いて、ほしいです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの特別授業をうけて原爆はとてきお  
そしい物だとおもいました。原爆の名前は「リ  
トルボーイ」と言う日本語で「少年」です。「リトルボーイ」は  
ウラン60kgもつんでおちてきましたですが、その1kg  
だけが「おちてきたのである」で、そうなったのかを聞いて  
みると、技術者が「間違」して「な」つたから、た「そ  
う」です。今、さまざまな国が「ウラン60kgの1  
100000倍をよ」じています。それを聞いたとき、おどろ  
きました。先生のお父様、池田義三さんは、実  
際、原爆が落ちた都市に、行ったところまで  
すが、どこから火をつけたら、いっかがあからず、どにか  
い、家もたまたま、いっかにならないうえ、ほかにも、死人を川  
からだ「たり」して「ま」した。そして、義三さんはそれを  
9日間もつかけていたそうです。そして、さちに帰る時  
に、いまでは「原爆ドーム」と言っている、建築物は  
美しいと言える物ではな「な」つたのだと、そして、資料館で  
作られた人形をみて「なん」な、きりて「はな」い「はな」ました。  
話をきいてよくその意味が、おちたよ「う」なま「か」は、  
戦争はま「よ」う「か」うま「ない」と、わかりました。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕はこの授業を受けて、改めて非特等を知りました。原爆は、  
 学校の授業や、「はだしのゲン」、歴史の本などでしか言えん  
 だろかなと、自画像の字真はあまり思いませんでした。ですが、夏  
 休み、夏休みの西方面に行ったら、原爆70年という事に原爆を受けた時、  
 先生に教わった、皮ふかホロボロ(こうては)おた人の字真がたぐ  
 人ありました。それを知り、原爆の非特等工を調べたりにしたり  
 しました。この授業で見た字真、自画像は今までに見た資料  
 の中、書かれたり(情報)が沢山ありました。そしてこの授業で出  
 来ると体験した、人々の言分聞やとて話のつたです。そして原  
 爆の投下場所(京都)出たのは知っていたけれど、小倉、横  
 浜、新島(た)が候補(に)なっていた事実全く知りません  
 でした。そして、おテレビ(た)して、リトルボーイはパラシュート  
 (に)付られて落ちて来た(という)のも(と)分(り)ました。  
 それに、人(か)一(つ)で高熱(と)衝撃(波)の速(さ)により、站  
 立(て)られ(ず)に有(り)得(ない)と思(っ)て(いた)の(に)、本当(に)  
 一(つ)で(い)お(た)ん(だ)と思(い)ました。最後に、外(わ)の「7000°」の  
 少年(と)いう意(い)味(み)が分(か)かりました。7000°は原爆(の)爆  
 発(は)した時(の)外(わ)の温(ぬ)度(ど)、少年(と)いう(の)は、リトルボーイ(の)こ(こ)とて  
 貴重(な)授業(を)して(た)せり、本当(に)お(た)り(が)い(う)て(さ)げ(た)い(ま)す。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

この原爆先生による特別授業をしてわかった事。1945年(昭和20年)8月6日に長崎に原子爆弾が投下されました。熱線と爆風で建物がかくすされました。原子爆弾がばくはつしたとき中心の温度は100万℃にもなる。そこでばくはつした場所から600mはなれさせても3000の熱線と強い衝撃波がたつたります。このばくはつだんごのせい者は広島の人口は35万人のうち14万人ものふしで命がいはおられました。この原子爆弾投下都市の条件は①直径5kmを越えること②平野であること③今まで一度も空襲がなかつた所と言つた3つの条件がなりました。この原子爆弾の速さは秒速440m、音速は秒速340mです。と言ふ事は原子爆弾の衝撃波は音の早さよりも早いと言ふ事になります。この原子爆弾にぶつれているものは3つあります。①目は熱線②目は衝撃波③目は放射線これら3つのものが、くまっています。ほかはこの特別授業をして原子爆弾のまろしさを学びました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

最初、資料を配られた時よく分かりませんでした。この人のお父さんの話の時話し方に重みがあって原爆を受け生きていた人の話には、今では考えられないくらい、この人で、自分がもしもそうなっていたら...と考えると、胸が痛くなりました。リトルボーンのおもむきがいりよく、はじょうごうできなくて、小さな子供が生きていたとしてもふしぎで私は、きと死んでしまおうと思ってもわかんなくて。

はくはつした時の声は、本当にびっくりしました。私は先生が忘れてしまったただけだと思、ていたからこんなにびっくりしたんだと思います。

がんじょうにできていたたてもりのの中にいた人もひがいをうけていて、それなのに生きて帰って来たよしごうはすごいと思、ていて、死亡率40%と聞いて多、いけど私の思、ていた数よりも小さくてびっくりで広島と長崎のげんりょうがちがうのも、びっくりでどちらのげんりょうの方がりよくは大きいのか。

アメリカ?に聞いてみたくなりました。戦争を知っている人も、だんだん入、ってきている中でこのじじいも他の人に伝、えたいと思、います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

原爆先生の授業を受けてぼくは、とても勉強になりました。

8月6日の一秒でたくさんの方が被害にあったというのは、とても悲しいです。

「兵隊さん、助けて、助けて」と聞こえる声、涙みだが出てしまいました。

昔の人は肉がはかかれ落ちた筈、ぼくがそのうけいを見たら、たぶんたえられないと思います。たくさんの方が亡くなりぼくは、せうたいたえられません。

人のやけはてた中で暮らすなんて、せうたいたえられない。

一秒間で何百人に十万人の人が命をうばわれてとても悲しいことだと思いました。

助けて... の声また聞きたくありません。

なので絶対に争い争はしません。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生のお話を聞いて当時の広島の人達や爆撃機「エノラケイ」や原子爆弾の名前「リトルボーイ」など、抚山のことを教えてくれて、今では考えられないことや戦争放棄が役にたっているんだなあと思いました。

その時はまだ生まれてなく分かってなかったけど、当時軍人だ、他人の息子さんから聞く話したと、教科書にも書いてないことが、はじめて分かりました。

少しおもしろいところもあ、たけど聞いていて損したことはなく逆に聞いていて良かった話がほとんどです。ぼくは原爆先生から聞いた話を通して、この先、もう戦争がないことをいって、生きていきたいと思えます。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受けて、思ったことは、今はあたり前、逆に教科書などにのっていないほうがおかしいような広島への原爆投下。私は、教科書にこの出来事を言葉で表してあるのが、すごいと思いました。なぜかという、原爆は、ものすごい勢いを、持っている、七十年、たっても、たくさんいたのに、当時の写真や、出来事が正確にのっているからです。原爆先生は、父義三さんの思いを、心をこめて、父になりきって、話してくれたので、とても、すごかったです。義三さんが、助けたのは、すごい事なんだと思いました。皮膚が、体から、落ちるなんて、今の私には、考えられないし、想像もできません。ビデオを見て、すごく、わかったのは、座っていた人が、いっしょに、消え、黒いしみとなり、その場に、残っていたこと。そして、原爆先生が、すごく、間をあけて、そして、とつぜん、大きな声を出した時は、すごく、びっくりしました。それから、何回か、間をあけて、しゃべることが、ありました。その時、いっしょに、しゃべることが、心臓が、バクバクして、いました。難しい内容の、所も、あったけど、原爆の事についての事も、たくさん、学ぶことが、できました。原爆先生の特別授業を受けることが、できて、良かったです。二度と、原爆は、落とさないでほしいです。原爆を落とすこと、人々の命が、なくなると、何も、いい事は、ないので、本当に、二度と、起らないことを



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受けられて本当によかったと思っています。

原爆のすごさやこわさがいやと言うほど分かりました。小説のお話を聞いていても、被爆者の方々の様子がとても分かりやすく表現されていて、想像するだけで「ツッ」としました。

資料ももらうことができ、よかったなと思っています。メモもとることもできて、本当によかったです。

一番みんなと話題になったのは、初めに見た動画です。原子爆弾が落とされた時の様子が描かれた動画です。みんなで「こわかったねー」とか「やばかった」とかいろいろと話しました。

私もと、とてもこわくて見てられない時もありました。こういうきか前がないと、戦争とふれあう時がなかったのがよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは戦争が終わってかなり後に生まれました。なので原爆先生の特別授業のように戦争としっかり向きあったことがなかったのでもっとい経馬喰をしたと思います。原爆先生のお話はどの場面でも頭で想像ができないようなものばかりで、恐怖心がどんどん大きくなっていきました。途中で「あ、もう聞きたくない」と思うほどでした。で、しかし「このような現実があったと考えると、何でこんなことになったんだろう、何のためにやられたんだろう」という疑問が増えていきました。あまりいい気分ではなかったです。悲しいと怖ろしいが、入り混ざった変な気持ちで話を聞いていました。テレビでは聞いた事の無い話もたくさん聞きました。この5、6時間目のあの時間はぼくの中で一生残っていると思います。戦争のつらさ、悲惨さが己のためよりも深く感じる事ができた時間でした。またこのつらさ、つらさ、事実、現実と体馬喰した人達が少なくないことは未来へ受けつがれるのに必要な人材がいなくなるという事でとても残念な事だと思っています。

事だと思っています。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生(也田眞徳先生)の授業を受けて、最初は、ちょっと楽しみで授業を受けていたけど、後からだんだん悲しい感じになってきて、最初の気持ちはなくなっていました。

と中、自分がこのとき広島に生まれていたんだろうな、って思ったり、考えながら授業を受けていました。

原爆の原料は火薬ではなくウランであること、ウランの重さは一kgであったこと、知らないこともたくさん学んで、原爆のときのビジュアルも見たりして、原爆の悲しさ、原爆を落とされた広島と長崎の人々の思い、死体を深層人の大変な思いなどが、今回の授業を受けてよく分かったと思います。

そして、二度とこのようなことが起こらないといいと、心から願っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

90分間原爆のことを教えてもらって、原爆で、どれほど亡くなった人があるかよく分かりました。

最初は京都に原爆をおとそうとしていたなんて、知りませんでした。

なぜ京都だ、たのかというとはかいの結果がよく分かるからという理由でした。

でも文化財をはかいしてはいけないという理由で原爆がおとされなくてよかったです。

広島に原爆をおとされた所で急に話をやめたので、話すことを忘れてしまったのかなと思っていたらとっぜん大きな声を出したので、とてもびっくりしました。

原爆で全身をやけどしてしまった人たちの所がこわかったけど、それほどのが原子爆弾にはあったことが、よく分かりました。

もう二度とこんな悲しいことが起こらないでほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

12/11

私は原爆先生の授業を受講して感じた事は、男性が兵隊になるのは、2才なのに原爆先生の父親(義三)は4才も若い7才で兵隊になっただけでありませんでした。原爆投下都市の条件が意外でした。候補になった都市は①広島 ②小倉 ③長崎 横浜 新潟 京都で 横浜と京都が候補になるなんて思ってもいなかたのでとてもびっくりしました。原爆の威力はとてつもなくて人は骨になってしまふほど強いので東京に原爆が投下されなくて少しホッとしました。ウランは全部で、60kgあって1kgはゴルフボールくらいの大きさだったなんてとてもびっくりしました。1kgがゴルフボールの大きさだとしたら、60kgは野球ボールの大きさでとても大きくて、それを原爆の材料にしているなんてとてもおどろきました。私かもし男でこの時代に中学生だったら兵隊にさせられていて義三さんと同じ思いをしながら

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

この作業をやるなんて大変&きつかったです。でも原爆についての学びが自分自身のため



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生に会う前に原爆先生の話がどんな話かとても楽しみに待っていました。そして先生が入ってきた時とてもドキドキしました。池田貞徳さんのお父さんの話を聞かせてもらいました。池田義三さんが17歳の時からが始まりです。初めて知ったことがたくさんありました。まず原子爆弾投下都市の条件です。3つあります。それは、直径5kmを超える大きな都市、平野であること、空襲がなかったことです。広島に投下された原爆は「リトルボーイ」という名前でした。その他にもいろいろ知ったことがありました。ぼくは広島や長崎に住んでいる人の気持ちを考えるととてもこわいです。原爆のリトルボーイは重さが約4tあるのでこくひっくりしました。考えるだけでとてもこわいです。これからこの国で「戦争がなければいいな」とずっと思っています。

これから平和な世の中がずっと続いてほしいと、ぼくは心の中で思っています。原爆のことをもっと良く知れて良かったです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の授業を受けて、最初は、広島<sup>じゅこう</sup>の原爆のことについては、あまり分からなかつたけど、この授業を聞いて、分かったことや勉強になったことが色々、聞けました。

話を聞いて、広島に投下された原爆「リトルボーイ」は全長3.12m、最大直径0.75m、総重量約5t。ウランを用いており、パイプの両はじに置かれたウランは9632mから回転しながら落ちて、赤い炎を出すという話を聞いてこの時初めて原爆のすさまじさが分かりました。広島の人々は黒こげになり、体全体に血を流したり、体の一部がもげたり皮膚が落ちてしまい、苦しめられた人々は、ぼくは本当にかわいそうだなと思いました。広島の産業奨励館は真上から熱線をうけて、原爆ドームとなつてしまつたをみせず、今では歴史ある世界文化遺産になつています。

でもぼくは広島がこんな姿になつてしまったのは、悲しい教訓です。今はもうがれきなどがちらばつた町ではなりのびもこのようなことはぜつたりになつてはけなけなしいと思います。

ぼくは、原爆の話を知つて、本当に苦しかったなという話を聞いて分かつたので、いろいろ勉強になつたので、とてもよかつたです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原火暴先生の授業で知らな  
かったことがたくさんありました。そ  
れは広島に投下された原火暴の名  
前や衝撃波の速さなどこの日だ  
けでどこにもありません。なからこ  
の原火暴先生の授業が聞けて、  
とても良かったです。

今まで知らなかつたことがたくさ  
ん聞けて良かったです。

広島に住んでいた、5人に2人が死  
んでしまったほどたいへんだったこと  
言ことが分かりました。

なから原火暴のたいへんさを、今まで  
より知れたので良かったです。

これからも広島での原火暴のことを志  
わすれないうつていきたいです。

良い系聖馬更ができて、とても  
良かったです。

これからの人生に役立てたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の授業を受言講するまでは原爆の  
ことについてよく知りませんでした。今回のこの授  
業では原爆先生の父義三さんの話とともに  
教えてもらいました。私がとくにびっくりしたこ  
とが3つあります。1つ目は、広島に落とされたリト  
ルボイの温度が7000°ということ。太陽よりも  
熱いものがスカイツリーと同じくらいの高さにあつた  
ことにびっくりしました。2つ目はウランの爆発した重さで  
す。ウランは全部で60kgあつたそうですが、実際爆発したの  
は1kgだけあつたそうです。私は60kg全てもウランが  
爆発していたらどうなっていたかと思えるとぞっとして、こわ  
くなります。3つ目は衝撃波です。外で歩いていた人が一しゅ  
んで消えたように、炭みたくになつたことです。私たちは  
その映像を見ましたが、忘れたくらいなげきな映像  
でした。あとは父の義三さんが原爆の時の話を泣きなが  
ら語っているのを見ました。私はそれを見て、今回の授業  
を受けて、一つ強く思ったことがありました。それは、  
戦争はぜったいにはならない!ということ。今回この  
記会で原爆のまぶさを知れて、とても良かったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原火暴先生(田眞徳)さんかきて  
戦争のお話しをしてくれました。  
もし、本ムがここにいたらと思っ、て見ました。  
最初、なぬのお話かなと思、て見たら  
戦争のお話で聞いた事のない  
お話しをしてくれ、とても分かりやす  
た。昔はこんな事もあって、今より大変  
だ。たこの原爆先生のお話、で分  
りました。とても悲しいお話しで、どん  
なばく弓弾が使われたのかを資料で  
まとめ、広島に投下された原爆は「リ  
トルボーイ」というばく弓弾で、そのばく弓弾は、  
パラシュートにの、たというのはうそでした。  
この「トルボーイ」というのは、風が来たら、  
ま、すぐに落ちるそうです。  
戦争で、七く、な。た人かおな、け、なりにな  
る方も、最後の、舞、を聞、いと、とても悲、い、お、言、ひ、で、は、  
このお話しを聞いて、昔の人は、つ、ら、い、思  
い、を、し、た、の、は、と、心、の、中、で、思、い、ま、け、た、





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

昭和19年8月6日原爆がおとされたんだと初めていきました。午前2時15分にB29がとび立て、でも最初には京都にしておとっていたが、日本人の感心生といっぱい女かがあるかゆめた。①広島②小倉③長崎横浜新潟、京都が原爆がおとされる所でした。そして広島と長崎におとすことにしました。

リトルボーイは日本語で小さな子、少年とよばれていました。

今はリトルボーイより14倍のばくだんが全国がもっています。

原爆ドームの本名は広島県産業奨励館です。

1kgはウランの重さです。ウラン60kg $\times$ 2=1kg (ゴルトボールと同じです)

爆心直下は4000℃です。

ひばく率70%です。

はく心地=真空=真空地たいです。



名前は裏面に記入してください

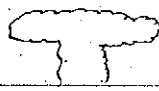
原爆先生の特別授業を受講して

表

昭和19年、池田貞徳さんの父池田義三さんは、17才で軍隊に加入しました。ふつうの人より、3才も若く軍隊に加入しました」と言

のを聞いて、私が軍隊に入ろうとしたことがすごいと思う。その翌年に「B29爆撃機エラ・ケイ」ってなにも、思いました。映像をみると細くて、長い飛行機みたいだった。最初は原爆の時に生きていなかろうかと思っていたら、お父さんの話だったから想像することができました。

爆撃機から落された「リトルボーイ」。リトルボーイの意味は小さな子や少年という意味というの。とても意外でした。ふつうの生活をしている人からリトルボーイを落と

したら大人の人でも、からと入ほどお力があった。その時のけつりは？  この名は、爆撃雲のきのこ形になる。

衝撃波の速さ毎秒440m (音速340m/秒) この72000、建物をコケタにする。リトルボーイがおちたせいで、たんさんの人や物をうしなした。もしウランが60kg全部をおとすと広島はどろんでいたのたいう？ 思ったから、5人に2人が被害にあったと思うから、たん



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆の授業を受講して涙が出るぐらい悲しいできごとがあつたことを改めて感じました。

ぼくがおとろいたことは候補に京都がついていったこと。原子爆弾は100万トンの熱い空気ももっていたこと。爆心地は真空に近くなること。時速300kmで原爆が投下したことです。いろいろな人が苦しく悲しい思いをしていたのだなあとビデオを見て思いました。

ぼくはこの話をまだ原爆を知らない人たちに戦争は(してはいけな)という教訓を持たせ、後の世代に受け継いでいかなければならないと思います。津波や地震はくり止められな(け)と、戦争は人間自身でくり止められると思います。先生、戦争を分かりやすく教えていただき本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私がこの話を聞いた時一番最初に思ったのは義三さんが本当は21さいで入るはずの軍隊に17さいで入ったことだ。それと時間がすれちゃったおかげで無事に生きていたことに対してすごくびっくりしました。そしてヒロシマをおそったエラゲイはチベット大佐の母の名前だと聞いて私はどうして大事な母の名前を使った爆弾であんなにたくさんの人を殺せるのかとふしぎに思いました。それに証言した人たちが目の前で一瞬間にして人が消えたと言っていたのが原爆の熱線と衝撃波によって焼け死んだあとに衝撃波で粉々になったから目の錯覚でそういう風に見えたと聞いて改めて戦争はおそろしいなと思いました。そして義三さんと眞徳さんがいっしょに広島平和資料館に行った時に広島の人達を再現したのを見て義三さんが「それいすぎる」と言ったのを聞いて当時はもともと悲慘な姿だ、なんだということがよくわかりました。これから先も戦争は絶対にしてはいけないんだなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業で、池田眞徳先生の父、池田義三さんの原子爆弾の話を聞いて、すごくびっくりする所がたくさんありました。義三さんが当時17才今でいうと高校2年生で、陸軍の第2班長の隊長になつたと聞いて、まだ若いのに隊長たなんてすごいなと思いましたけど、まだ17才なのに原子爆弾を体験して、とてもつらかつただろうなと思いました。それに、ケガをトラックのせいで、それぐらいのけがで、ゾッとしました。その感も覚えているのもつらかつただろうなと思いました。それでも、任務をやり続けていて、とてもすごいなと思いました。私がこんな体験したり、立ち直れないし、つらかつただろうなと思いました。原子爆弾に生き残れた人も義三さんと同じ風に思つていたのか、なと思いました。生き残れた人の言語の蒸発してきえた事や黒いかけのしみが残つていたよるお話しもゾッとしました。DVDでは黒いおのようにながで消えていたのび、とてもびっくりしました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆について いままで考えたことは、ありません  
でした。でも、原爆先生の特別授業を通して、原  
爆というのは、とてもおそろしいと思いました。広島県  
の人々は、原爆で被害にあつて多くの人が苦しい思いをし  
たと思います。なので私は、絶対 もう戦争は、やりは  
いけないと思いました。原爆先生の特別授業を  
受けて、びっくりしたことは、原爆の候補になつた都市  
は、広島だけではなかったのに原爆を落とす日に広島  
が晴れたただけで、広島になつてしまったことです。  
それと、60kgのウランが入っていたのにたったの1  
kgしかねんしようしなかったことです。でも、もし60  
kgのウランが全部ねんしようしていたら、広島は、なく  
なつていたかも、しれないので1kgしかねんしようしな  
くてよかったです。私が一番こわかと思つたのは  
は、原爆の落ちた時外にいた人が、いっしょに消え  
さつてしまつたことです。どうして、やうなたかというと、7000  
度を数秒あつて炭素がなくなり、いっしょに消えたよ  
うに見えたそうです。私は、原爆先生の特別授  
業を受けて、戦争は、絶対やりは、いけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して、原爆の威力が凄まじいこと、多くの人が亡くなった事は知っていました。が、あまり色々と知りませんでした。最初の話を聞いて、最初は全然想像がつかないほど、凄まじいことだと思いました。原爆の後の処理も、とても大変だったという所が、気がなかつたので、原爆の後も、すごく大変だったという事が伝わりました。と中、歩いて来た人の歩み、分りやすく説明して下さったので、その時の話が、想像しやすかったです。資料にも毛をとって、その時、原爆をせるしくみ、その時の被害の事が、よく分り、最初は回転しながら、飛んできた、飛んで風が安定させ、高度を下げて、爆発をせるというしくみが、分りやすかったです。また地上600mに太陽があると思えば、原爆の柱が、おそろしさを改めて感じました。今いるのは、原爆が、1000kgものウランをもっている、と話していたので、戦争は、改めて絶えさせるべきだ、と思いました。



じゆこ  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ばくは原爆先生の特別授業  
 を受講して嬉しいです  
 ありがとうございます  
 先生のおかげで  
 いろいろなことを  
 勉強することができ  
 ました。先生の話  
 がとても面白く、  
 先生のお話を聞  
 くと、心がほっと  
 します。先生は  
 とても優しく、  
 先生のおかげで  
 勉強することが  
 できました。先生  
 の話を聞くと、心  
 がほっとします。  
 先生はとても  
 優しく、先生が  
 くださったおかげ  
 で勉強することが  
 できました。先生  
 の話を聞くと、心  
 がほっとします。  
 先生はとても  
 優しく、先生が  
 くださったおかげ  
 で勉強することが  
 できました。先生  
 の話を聞くと、心  
 がほっとします。  
 先生はとても  
 優しく、先生が  
 くださったおかげ  
 で勉強することが  
 できました。先生  
 の話を聞くと、心  
 がほっとします。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

私は、最初に7000℃の少年と書いてあって、意味がわかりませんでした。そして、5、6時間目になって、原爆先生の特別授業が始まりました。

私は、エノラゲイという爆げき機も、リトルボーイという原子爆たんも知りませんでした。その後も、知らないことや、おどろいたことがたくさんあって、良い勉強になりました。

もしも今、原子爆たんが投下されたらということをご想像するととてもおそろしいと思いました。戦争は、良いことが何もないので、絶対にや、てはいけなると改めて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して  
 自分がまだ知っていなかった原爆の事を  
 教えてくれました。自分が一番おどろ  
 いた事は、エラ・ケ化という原子爆弾  
 の名前の由来がバシベットの母親の名  
 前だった事です。候補になった広島小倉  
 長山崎横浜新潟京都の中の一歩の候  
 補が京都で理由は家がみっしりしている  
 いうのにもおどろきました。自分がもしも  
 この戦場にいたらあけなく原爆  
 先生の父の様に生きてはいなくな  
 ったと思います。自分は戦争が糸冬  
 おってから生まれてものすごく運が  
 良いと思っています。なので糸色文が母  
 去のように大きな戦争がないと良い  
 です。原爆先生の話を聞いてとても  
 勉強になってよかったです。ここから先  
 の時代は戦争や他の国から  
 原爆を落とさぬ平和な国になる